# 「たい肥ナビ!水稲版」の使い方

Ver. 1

作成:茨城県畜産センター環境保全研究室

#### 1 はじめに

「たい肥ナビ!水稲版」は Excel2003 でご利用下さい。一時的にマクロのセキュリティレベルを中にして,マクロを有効にしてください。 Excel を終了し再度起動するとマクロが有効になります。 なお,使用後は安全のためセキュリティレベルをもとに戻して下さい。

「ツール」「マクロ」「セキュリティレベル」「中」。

## 2 「たい肥ナビ!水稲版」は2つのシートからできています。

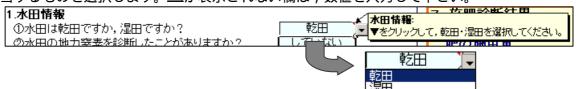
「施肥設計シート」と「農家情報シート」の2つからできています。ファイルをあけると「施肥設計シート」が表示されます。水田情報の入力,たい肥情報の入力,施肥診断結果の表示で構成されています。 
が,入力欄です。1から順に必要事項を選択・入力します。



図1 「たい肥ナビ!水稲版」の概要図

#### 3 水田情報を入力します。

(1)入力方法: セルをクリックし,表示されるコメントを参考に**型**をおして下に表示されるリストの中から,該当するものを選択します。**型**が表示されない欄は,数値を入力して下さい。



## (2)入力項目の概要

| 項目                        | コメント表示等   |
|---------------------------|---|
| 1.水田情報                    | <u>♥──</u> ▼をクリックして乾田・湿田を選択してください。              |
| 水田は乾田ですか,湿田ですか?           | 牛ふんたい肥施用量 乾田 1t/10a                             |
|                           | 湿田 0.5t/10a                                     |
| 水田の地力窒素を診断したことがあります<br>か? | <u>していない</u> をクリックして , している・していないを選択<br>してください。 |

中程度 ▶️をクリックして高い・中程度・低いを選択して ください。 基肥窒素量 基肥+穂肥型 全量基肥型 地力 2.0kg/10a 4.0kg/10a 高い ア)「していない」の場合 中程度 3.5kg/10a 5.0kg/10a 低い 5.0kg/10a 6.0kg/10a 基肥 + 穂肥型の穂肥窒素量 たい肥施用時 1kg/10a たい肥を施用しない時 2kg/10a 水田の仮比重: 参考値 砂質 1.1g/cm3 イ)「している」の場合 水田の仮比重は, 粘質 0.9g/cm3 黒ボク土  $0.7g/cm^{3}$ 測定値を入力してください。基肥窒素量を計算します。 リン酸緩衝液抽出窒素量 <u>■基肥+穂肥型</u>をクリックして「基肥+穂肥型」か「全量基肥 2. 施肥体系等 施肥体系を選んで下さい 施肥型」を選択してください。 高品質良食味米 かをクリックして標準品質米または高品質良食 味米を選択してください。 品質目標 標準品質米 高品質良食味米 項目 目指す品質を選んで下さい。 収量 510kg/10a 480kg/10a 千粒重 21.5g 22.0g 玄米タンパク質含量 6.4%6.0% 注)地力診断をしていない・全量基肥型および地力が高すぎる ときは,高品質良食味米は選択できません。 慣行施用量または土壌診断によるリン酸・カリ施肥量を 3. 慣行施肥量(リン酸・カリの総施肥量 kg/10a)

「10kg」に入力してください。

■畜種を選ぶ

#### 4 たい肥情報を入力します。

- (1) 施肥設計シートのたい配を選ぶをクリックすると、「農家情報シート」へ移動します。
- (2)「農家情報シート」の **畜種を選ぶ**からたい肥の畜種を選びます。

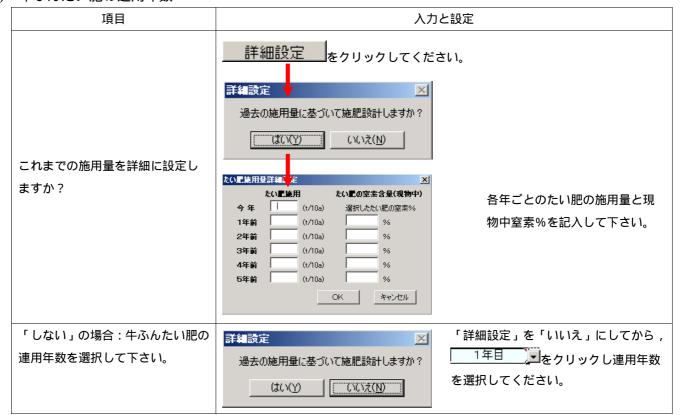
(3) **たい肥情報**からたい肥を選びます。セルを に移動すると,右側に ヹが表示され,クリッ こ クすると農家番号のリストが表示されます。番号を選択すると「施肥設計シート」に移動し,選 んだたい肥の情報が表示されます。

(4) なお , たい肥情報の最上段に ,任意のたい肥の現物中の成分値を入力することができます。



(5) たい肥の容積重:たい肥は,水分含量や水分調整材の違いによって容積重が大きく変わります。 施用前には,容積重を確認しましょう。たい肥を 10L バケツに入れて重量を測定して下さい。容積重が計算されます。

#### (6) 牛ふんたい肥の連用年数



#### 7 施肥診断結果の見方

- (1) 牛ふんたい肥の施用量(t/10a)が表示されます。
- (2) 各肥料成分量(窒素・リン酸・カリ)が,基肥・追肥ごとに表示されます。設計不可の場合は,コメントに従い施肥条件を変更して下さい。
- (3) コメントの表示
  - ・高品質良食味米を目指すときは,地力診断を行い,基肥+穂肥型で施肥してください。
  - ・地力が高いので、標準品質米で設計して下さい。
  - ・地力が高いので,倒伏や品質の低下が著しくが心配なときは,たい肥施用量減らすか,一時的に休止してください。「詳細設定」で,任意のたい肥施用量が入力できます。

## 8 参考(肥料の施肥量)の見方

- (1) 肥料の窒素・リン酸・カリの成分バランスや,肥料の施肥量を計算します。 任意の肥料の窒素成分率を入力して下さい。施肥診断結果と窒素成分率に併せたリン酸・カリの成 分率が表示されます。このバランスに近い肥料の利用をおすすめします。
- (2) (1)で入力した窒素成分率の肥料を使う場合の肥料の施肥量が表示されます。

#### 9 活用にあたって注意すること

たい肥中の窒素肥効率は,地温・降水量などの気象条件・連用年数・栽培作物によって変化します。 「たい肥ナビ!水稲版」の結果は,参考値として活用してください。